

# 岩津ねぎだより

令和3年11月26日  
岩津ねぎ産地協議会  
生産支援チーム

【生育状況】本年度は、台風被害は少なかったものの、8月の長雨と9～10月の高温・乾燥により、全体として生育が遅れています。また、病害虫の発生も多く、黒斑病やさび病、アザミウマ類等の被害が見受けられます。

【今後の管理】出荷規格を満たすまで慌てず、今後も病害虫防除（薬剤の収穫前日数に注意しましょう）、追肥、土寄せ作業をしっかりと行いましょう。また、大阪管区気象台の厳寒期予報では、平年に比べ、曇りや雪または雨の日が多い見通しです。雪よけ対策も必ず実施しましょう。

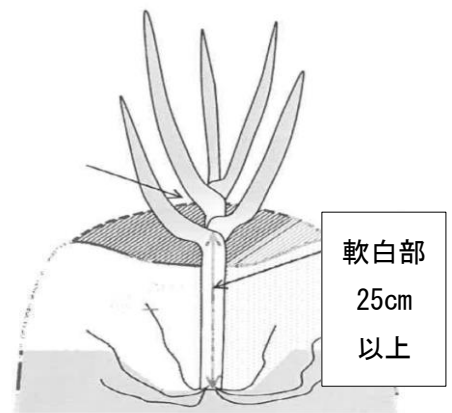
## 1 土寄せ・追肥・止め土作業の実施

今年はやねぎの生育が遅く、土寄せ作業も遅れています。  
天候やほ場状態、生育状況を確認し、土寄せ作業を実施してください。

追肥は、土寄せ・止め土前に、燐硝安加里 S 6 0 4またはPKセーブを、10a 当たり 30kg を必ず施用します。

止め土は、収穫予定日の40日前を目安に、図のように、裾首が完全に隠れる所まで十分に土を寄せます。

また、1月以降の出荷用のねぎは、12月に燐硝安加里 S 6 0 4 または PKセーブを 10a 当たり 30kg 施用します。



止め土の状況

## 2 雪よけ対策は必ず実施

大阪管区気象台の厳寒期予報では、平年に比べ、曇りや雪または雨の日が多い見通しです。1回の降雪でも、葉折れ等の被害は甚大です。

昨年は年末年始にかけて、最深積雪量45cmの大雪があり（和田山アメダスデータ）、雪よけ対策をしているほ場でも、一部で資材の倒伏等の被害が多く見られました。

大雪による資材の再設置や収量減を回避するためにも、天井部と支柱に直管パイプや鉄筋を用いて、十分強度のある雪よけ資材を準備しましょう。（裏面参照）

なお、「雪よけ」をかけたままにすると、葉色が落ちるので、ときどきめくって光を当てましょう。

## 3 品質向上の取り組みを～規格を守って出荷しましょう～

現在の生育は平年に比べ遅れています。出荷期間は3月までであるので、無理して出荷を急がず、収穫前には必ず試し掘りにより品質の確認を行ってから出荷しましょう。



## R2年度 資材タイプ（天井部+支柱）別にみた雪よけ設置事例調査結果

### A. 直管パイプ+直管パイプ



強度：◎◎  
価格：高  
価格は高いが最も強い！

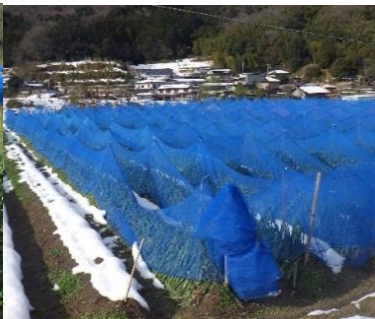
### B. 直管パイプ+鉄筋



おすすめ

強度：◎  
価格：中  
十分強く、大雪に耐える！

### C. マイカ線+鉄筋



強度：△  
価格：安  
大雪・強風で資材倒伏、  
ねぎ葉折れ

### D. マイカ線+アーチ支柱



強度：△  
価格：中  
大雪・強風で資材倒伏、ねぎ  
葉折れ

<問合せ窓口>

和田山営農生活センター：672-4800

山東営農生活センター：670-7744

朝来営農生活センター：670-4341

朝来農業改良普及センター：672-6886